

令和4年度 第1回
川口市文化財保護審議会
議 事 録

会 議 名	第1回川口市文化財保護審議会
開 催 日 時	令和4年8月5日（金） 午前10時00分～午前11時00分
開 催 場 所	川口市役所分庁舎（教育庁舎） 2階 会議室
出 席 者	委 員（会長◎、副会長○） ◎有元修一、金箱文夫、黒津高行、後藤治、鈴木淳、 西沢淳男、田村均、三田村佳子（8名）※2名欠席 事務局 茂呂教育長 国島次長兼文化財課長 鈴木課長補佐兼管理係長 宇田課長補佐兼文化財保護係長 小牧課長補佐兼埋蔵文化財係長 谷川主査、茂木主任、浅井主任
議 事	（1） 令和4年度事業計画について （2） その他
そ の 他	
公開／非公開の別	公開
傍 聴 人 の 数	0人
会 議 資 料	令和4年度第1回川口市文化財保護審議会会議資料

審 議 経 過

◎ 委嘱交付式

- 1 開 会
- 2 委嘱書交付
- 3 教育長あいさつ
- 4 委員・事務局紹介

◎ 第1回川口市文化財保護審議会

- 1 開 会
- 2 会長・副会長の選出
- 3 会長あいさつ
- 4 議事録署名委員の指名

川口市文化財保護条例第8条に基づき、会長が議長になり、会議開始に際して、出席委員が定数に達していること、傍聴者がいないことを確認し、議事録署名委員を、出席委員の中から金箱委員、黒津委員を指名した。

5 報告事項

(1) 令和4年度事業計画について

事務局 資料に基づき説明する。

議 長 まず、(1) ア・イについて質問、意見を求める。

議 長 旧田中家住宅について、来年度から指定管理者制度を導入するとあるが、導入する理由、進捗状況、どのような方向性を模索しているのか教えていただきたい。

事務局 旧田中家住宅の指定管理者制度導入は、市の施設「アートギャラリー・アトリア」と併せて、より一層効果的な活用を図るべく、来年度より民間の業者に指定管理を委託するため、現在検討しているところである。黒津委員に指定管理者選定委員に入っていただき、ご意見を頂戴して検討しているところである。

事務局 また、「アートギャラリー・アトリア」は川口市並木町にある施設で、教育委員会が管理している施設である。旧田中家住宅とアトリアを一体とし、5年間指定管理者に管理を任せるが、実際、旧田中家住宅については、期間中に耐震工事が入るため、最初の1年9ヶ月程度

を指定管理者が管理する仕様で進めている。今後業者選定を進めていき、令和5年4月1日から管理を実施していく流れになる。

委 員 アートギャラリーは文化財建造物ではないのか。

事務局 文化財ではない。イベントや個展等の貸館業務を行っている施設である。

委 員 アートギャラリーはすでに指定管理者制度が導入されているのか？

事務局 今回、旧田中家住宅と併せて、はじめて導入される予定である。

委 員 入札参加の条件に、文化財の管理経験があることは入っているのか。

事務局 仕様には文化財の保護に最大限務めることを盛り込んでいる。

委 員 今まで年中行事に合わせたイベントを開催していたと思うが、今後はどうなるのか。

事務局 市が行っていた端午の節供や桃の節供等イベントは、仕様書に入れており、基本的に指定管理者が行っていくことになる。

議 長 指定管理を受けた業者との連携を密にして、それらのイベント等がおろそかにならないようにして欲しい。

議 長 次に、(1)ウ・エについてはいかがか。

議 長 企画展「赤山陣屋跡遺跡」は郷土資料館で行うのか。チラシのタイトルを見るとイイナパークにある歴史自然資料館で開催しているように見え、少しわかりにくい。

事務局 歴史自然資料館では、この企画展の関連イベントを行う予定であり、赤山陣屋跡遺跡の内容なので、歴史自然資料館から郷土資料館へ誘客が図れればと思う。

委 員 歴史自然資料館も指定管理者制度で運営しているのか。

歴史自然資料館の展示やイベントに関して、少し歴史からずれたような内容が多いが、業者の得意分野ではなく、もっと文化財課の方で管理業者を誘導して、郷土の歴史の理解を深めるのに、有益な内容になればよいと思う。

事務局 歴史自然資料館は業務委託で運営している。イベント等についての意見は承知した。

委 員 指定管理者の年限が来た時には、効果測定などで評価をして、継続を認めるか否かの判断をしていくのが一般的な手法だと思うが、そのような運用はされていないのか。

事務局 歴史自然資料館は指定管理者制度ではなく、毎年プロポーザルを行い、1年ごとの委託契約により管理・運営を行っている。今後、プロポーザルを行う際に、イベントに歴史等の内容を盛り込むよう検討する。

委員 歴史自然資料館は、川口市の文化財行政においてどのような位置づけなのか。

事務局 歴史自然資料館は、公園整備事業の中で建設されたものであり、条例上は文化財センターの分館として位置づけられているが、特に赤山地域や伊奈氏の情報を中心に発信している。また、展示スペースの一部を自然保護対策室が利用しており、赤山の自然について展示も行っている。

議長 文化財課としては、公園を訪れる人たちに文化財や歴史に興味を持ってもらい、郷土資料館や文化財センターへの誘客を意図しているのか。

事務局 その通りである。

議長 それでは、（１）オ・カ・キについて、質問・意見等はあるか。

委員 １点目に、川口史料叢書近代編を刊行されるとあるが、どのような内容なのか。２点目は、発掘事業について、川口市内で鋳物工場など近代の遺跡が埋蔵文化財包蔵地となっている事例はあるのか。

事務局 川口史料叢書は、地域史料の「御用留」をまとめたものである。第１集が江戸時代のもの、第２集は近代編として明治時代のものを収録している。

事務局 ２点目の近代の遺跡について、現在埋蔵文化財包蔵地としている場所で、近代の遺跡として確認されているのは、安行中学校にあった旧陸軍の基地の跡だけである。鋳物工場がある本町や金山町は包蔵地にはなっておらず、工場が廃業するときに調査することはあるが、包蔵地としての調査は行っていない。

委員 東京都では、ようやく高輪で初めて近代の遺構を遺跡としたが、川口ですでに近代の遺跡を包蔵地として扱っている点はよいと思う。川口は鋳物工業関係の遺構がたくさんあると思うので、調査していただければと思う。

事務局 極力所有者の許可を得て、調査できる場所は予算の範囲内で調査をしていきたいと思う。

委員 埋蔵されているものだけでなく、目に見えている地域にとって重要な文化財についても、文化財地域計画の策定に取り組んでリスト化することが大事だと思うが、川口市としては、文化財地域計画をどのように考えているか。また、例えば、旧田中家住宅の管理に係る建築の専門職員を、市の職員として配置することは難しいと思うが、改正文化財保護法には文化財指導委員という非常勤を置ける制度もあるので、引退した有識者等に指導員をお願いするなど、色々なことが検討できるのではないかと思う。文化財地域計画で各分野のリスト作りをやられた方がよいのではないか。特に近代の文化財をリスト化することは川口市にとって大事だと思う。

事務局 地域計画については検討していく。文化財指導委員については、市の人事に係ることなので、人事担当に配置の要望を出していきたいと思う。

議長 ほかに何かあるか。

委員 「うち☆博」とは何か。内容を教えてほしい。

事務局 郷土資料館で学校連携を担当している職員が中心となり、鋳物工場のバーチャル見学や旧田中家住宅の内部の 360 度映像、ソース焼きうどんを作る動画等、様々なコンテンツを配信している。

委員 主に小中学生を対象としたコンテンツということか。

事務局 その通りである。

6 その他

議長 その他、全体に係ることで何か質問・意見等はあるか。

委員 旧田中家住宅について、せっかく耐震工事をするのであれば、発掘調査を行って基礎等地面に埋まっている部分を調査してはどうか。

横浜市の港の見える丘公園で旧米軍の病院跡が発見され、上部は解体されてしまっているが、基礎の部分から煉瓦造りの建物だったことや煉瓦の組み方や構造等が、発掘調査で分かっている。

旧田中家住宅の場合は、建物の地下にはワインを収めるための蔵があったなどの話もある。工事の工期等時間的余裕があれば、考古学的手法を用いて調査を行い、地上部分だけではなく、地下部分を調査すれば、和館と洋館の接続部分等構造的に難しい部分や軟弱地盤でどのように建物を支えていたかがわかり、耐震工事の設計の役に立つと思う。

事務局 旧田中家住宅の洋館・和館については現在調査を行っているところ
である。基礎の調査も行う予定なので、進めていきたいと思う。

7 閉会

議長 以上で、議事を終了する。